

オオキチくん通信

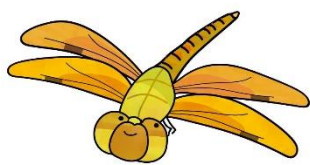
2022年10月号

発行: NPO法人森からつづく道

URL: <http://morimichi.org/>

★上記HPからダウンロードできます

独立行政法人環境再生保全機構地球環境基金の助成を受けて作成しています。



協力: 風早活性化協議会

秋も本番(ほんばん)になってきた! トンボたちにとって大切な、卵(たまご)を産(う)む季節だよ! おや? オオキトンボとはちがう場所(ばしょ)に、ちがう卵の産み方をするトンボがいるんだね!

たまご う

トンボの卵の産み方はいろいろ!

10月

になると、田んぼではお米(こめ)がみどり、もうイネに水をやらないので、ため池にあまり水をためなくなります。水が少なくなって砂地(すなじ)が出てきたため池の水際(みずぎわ)に、たくさんのオオキトンボのペアが卵を産(う)みにきます。トンボによって、産卵(さんらん)方法(ほうほう)はいろいろです。どんな卵の産み方があるか見てみましょう☆



ニシトンボ

写真: 高橋士朗氏

空中から土に落とす



シオヤトンボ

水中のドロにたたきつける



オオキトンボ

写真: 橋越清一

ため池の水際にたたきつける



カトリヤンマ

写真: 高橋士朗氏

しめった土に産みつける



クロスジギンヤンマ

水中の草に産みこむ



アオイトンボ

水上の草に産みこむ

(武智礼央)

ようこそ! カニカニランド



サワガニ

海にはいないよ!

甲羅(こうら)の大きさ 2.5cmくらい	甲羅(こうら)の形 丸みをおびている
色の種類(しゅるい): 3つの基本色(きほんしょく)	
灰(はい)色×青色、茶色×褐色(かつしよく)、むらさき色×黒色	
どこにいる?	
一生を水のきれいな川で過(す)ごすカニなんだ	
子育て名人?	
卵だけでなく、子ガニもしばらくはおなかにかかえているよ	
食べものは?	
植物・昆虫・ミズなど。おむすびも食べるよ。	

(若山勇太・写真/橋越清一)

あのムシは今!? [カネタタキ]



カネタタキは、夏から秋にかけて「ピッピッピ」とかわいい声で鳴(な)くコウロギのなかま。秋を知らせてくれる昆虫(こんちゅう)で、木の上で生活(せいかつ)しています。ほかのコオロギやキリギリスのなかまよりもおそい季節(きせつ)に成虫(せいちゅう)が見られます。また、街(まち)中でも見られます。

大きさは10ミリくらい

写真(しゃしん)はオスで、短い翅(はね)がありますが、メスにはありません。

(若山勇太・写真/武智礼央)

海をわたるチョウ～アサギマダラ マーキングされたチョウを見つけよう！！

さあ、がんばって南へわたるぞ！！

オスには黒いはんてんがあるよ！！

オスの腹（はら）の先にあるフェロモンを出すヘアペンシル

オス

メス

交尾（こうび）中！！

マーキング調査
だれが、どこで、いつかまえたかがわかるようにマークします。

フジバカマの花にやってきたオス

石川県でマークされたアサギマダラが愛媛県で見つかったよ！

おいらはアサギマダラの天敵（てんてき）だよ！

アサギマダラは「海をわたるチョウ」として知られ、翅（はね）がじょうぶでやぶけにくいので、翅にしるしを書いて、どこから飛できたかなどを調べる「マーキング調査」が全国で行われています。だから、翅に油性マジックやシールでマークされたチョウが見つかることがあるよ。アサギマダラはフジバカマのなかまの花が大好き。この花の蜜（みつ）をすってオスは体内でメスを引きよせるフェロモンをつくるんだ。この秋はアサギマダラに出合えるといいね。何をしているか観察（かんさつ）しよう！（khashigoe）

だいへんしん 葉っぱが大変身！ 草 花 で あそぼう！

マキの葉で手裏剣（しゅりけん）を作り、二つを合わせると小さな虫かごが完成。クヌギやクスノキの葉を切り取ったり、重ね合わせたり、おりこんでクワガタ、カブトムシ、すすきの葉でカタツムリもできるヨ。



さんかしゃ
ほしゅう～！

参加者
募集！

風早 トンボ
サミット2022

くわしくは



小学生にはとくに新開さんのおはなしがおすすめ！（そのあと帰ってもOKだよ）

オオキトンボがいる里地（さとち）には、いろんな生きものがすんでいる！生きもののふしぎや、観察（かんさつ）のおもしろさに気づき、守ることも考えます！

- 【日時】れいわ4年10月30日（土）ごご1時～4時
- 【場所】北条ふるさと館1かい（松山市河野別府995）
- ★おはなし：こんちゅう写真家（しゃしんか）・新開孝さん「虫の目で自然（しぜん）観察（かんさつ）を楽しむ！」
- ★ほうこく：トンボの調査（ちようさ）や、まもる活動（かつどう）
- ◎とくべつ観察会（かんさつかい）午前10時～
- オオキトンボの産卵（さんらん）など



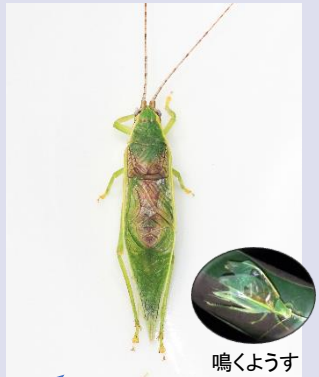
今月の植物★ミゾソバ



田んぼや畑のまわりのみぞなど、しめったところに生え、ソバに似たタネができるからミゾソバといいます。秋にピンク色の花をつけます。葉は牛の顔ににているからウシノヒタイという名前もあります。

そうやったんかい！ 外来生物 ③⑧ アオマツムシ

中国から来たときとされているマツムシのなかま。松山市では1990年ころから見られるようになりました。オスは「リーリー」と大きな声でつづけて鳴（な）きます。木の上で生活（せいかつ）し、庭（にわ）やまち中の木にもいます。明かりによく飛（と）べます。



大きさ：2.3cm

鳴くようす

（武智礼央）